
夢のお囁

泉未 芹

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夢のお囃

【Nコード】

N7525D

【作者名】

泉末 芹

【あらすじ】

気付いてください大切なものに。忘れないでくださいそのことを。

ある晴れた日、青空のしたで少年はかんがえていました。自分が大人になるということ、いつかしたいたくさんのことを。

どうぶつたちとくらしたいなあ。ものがたりをかいてみたいいうたもうたいたい。いろんなところにぼうけんにもいきたいな！

それはとてもきらきらかがやき、おいでおいでと少年の心をくすぐります。少年は大きくなることが楽しみでしかたがありませんでした。

少年はお母さんへ夢の話をしました。いっぱいいっぱい自分のおもいをお母さんに伝えました。しかしお母さんはいいいます。

それはだめよ。たくさんべんきょうをしてかしこくなってきちんとはたらきなさい。そんな夢はすててしまいなさい。

と。少年はお母さんのいうことをきいて、なきながら夢たちとおわかれをしました。その日から、少年の口から自分の未来のお話が増えてくることはなくなりました。きらきらかがやいていた少年の夢たちは、少年の心からおいだされてしまったのです。

それからいくつもの月日がながれ、少年は青年へと成長しました。たくさんべんきょうしたので、青年はまじめでとてもかしこい人になりました。そしてそれをいかして青年はりっぱにはたきました。

まわりの人はいいいます。

彼はすばらしい、と。そしてみな、こうつづけます。
けれど彼はしあわせそうではないね、と。

幼いころに夢をすてた青年は、夢の見かたをわすれてしまいました。
そしてぽっかりとあいた心の穴にきづかずにこれからも生きていく
のです。

（後書き）

はじめまして、泉未芹といいます。この話を読んでくれてありがとうございます。
うございます。初めての投稿なので少し緊張ぎみです…。
もしよかったら感想などお願いします！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7525d/>

夢のお囁

2011年3月24日23時46分発行